

会 議 録

会議名称	令和4年度 第1回大空町文化財保護審議会	
開催日時	令和4年9月29日（木）	14時00分から 15時30分まで
開催場所	女満別研修会館第2会議室	
出席者の氏名	委員出席者氏名（敬称略） 岩原繁、向井弘、山川秀雄、児玉康弘、酒井千鶴子、 武田修、河崎琢哉、佐伯行路 教育委員会 関谷教育長、歌丸主幹 河西主査	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	○令和4年度年第1回大空町文化財保護審議会 議案	
審議内容及び結果	<p>(1) 会長の互選について 会長に岩原委員、副会長に向井委員が選任された。</p> <p>(2) 女満別湿生植物群落保全対策の今後の予定について 事務局説明後、以下のとおり意見等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ミズバショウ以外の植物も含めて群落を形成している。ヨシには水質浄化作用もあり、ヨシが繁茂した後に樹木が育ってくるので、あまりヨシを悪者のように考えないでほしい。国の指定文化財であり、基本的に町の独断で手を加えられない。倒木等も自然現象の一環ということを考えると打つ手がなかった。 ◆ 排水工事を行うということまでは、検討委員会の内部で合意が形成されているのか？ (回答) そこまでは合意されている。現在は、具体的にどこにどのような排水管を設置 	

すべきかという検討をしている段階。

- ◆ 国の補助金をもらって工事を行うのであれば、文化庁の調査官にも検討段階から関与してもらったほうがよい。

(回答) すでにオブザーバーとして会議に参加いただいている。

(3) 大空町郷土資料室の今後の展示・保管方法について事務局説明後、以下のとおり意見等があった。

- ◆ 郷土資料の整理は、大ナタをふるう必要がある。重複するものや、どこの町にでもあるようなものは不要。また、近代で未収集の資料や大きな資料はどうしていくか。大空町に特色あるものを優先して保存すべき。
- ◆ 開拓時に使われた農機具などは、開拓の歴史を伝えるものとして残して行ってほしい。
- ◆ 新しい郷土資料を保管するにしても、完動品を保存しないと意味がない。カセットテープなどは経年劣化する。
- ◆ 写真は、データだけだと消えてしまうことがあるので、印刷もしておいたほうがよい。
- ◆ 文化財と郷土資料は、区別する必要がある。この両方を1箇所で開催する必要はなく、別施設に分けてもよいのではないか。
- ◆ 9月15日に開催された郷土学講座で、東藻琴純ミズナラ原生林というのがあることを知った。私もまったく知らなかったので、もっと周知したほうがよい。

(回答) 今後、ホームページ等で周知を図る。

以上